

御荷鉾山

毎日新聞旅行 04日



弘法大師も関係した信仰の山であり、剣などもそこここに飾られているのであるが、ネット情報ではあまり語られていない。

ツアーリーダーは孝行ジイヤ然とした米原さんで、サブは歌う山案内人の小室さんである。

南登山口から西御荷鉾山山頂まではわずか 200m の標高差であるがちょっと急登であ

る。途中大の字のマークがあるが平面なので確認することは不可能である。米原さんは 40 分くらいの行程に対して 2 回の立ち休みを入れて導いてくれる

西御荷鉾山も東御荷鉾山も標高差は 200m 少々のである。靴マークも 2 で楽なはずであるが、今回は年齢もかなり高そうのでバスで私の隣にいた人は 80 歳であった。私の歳を言ったら“なんだ、まだ若いじゃないか”と言われた。ケッコウばてている人もいた。男 5 人で女 16 人。知ってる人は清水のバーサマだけであったが、例によって覚えていないだけかも知れない。花は山ぼうしが目立った程度で少ししかなかった。



山ぼうしの木